

郷土こぼれ話

地域の神様 ⑬ 代の熊野神社と薬師堂

□ 熊野神社

－ 藤井寛さんにお話を伺いました －

熊野神社は、代の代山地区にある神社です。明治の初めに八幡神社に合祀されましたが、あまり時を経ないで現在の位置に戻れたといわれています。本宮は、熊野本宮大社で、祭神は熊野大



熊野神社

権現です。主祭神は家津美御子(スサノオ)といわれています。ご利益は、身体剛健・五穀豊穰・縁結びです。特に、最近縁結びの神様としてお力を発揮していると口コミで伝えられているようです。

新編武蔵風土記稿には、熊野神社の創建は記載されていませんが、『清安寺持』の記載が認められます。また全国には、三千数百の熊野神社が祀られているそうです。

お祭は4月と10月に行われます。氏子の数は少ないのですが、老人も子どもも食べ物を持ち寄りみんなでお祭を行っています。少ない人数で創り上げていくお祭りの楽しさを味わっています。これからも、みんなでお祀りしていきたいと思えます。

□ 薬師堂

－ 須田美枝子さんにお話を伺いました －

薬師堂は、大幡小学校の北にあるお堂です。「新編武蔵風土記稿」に「清安寺本山派修験瑠璃光山と號す 薬師堂 本尊は惠心の



大幡小学校から望む薬師堂

作にて、熊谷次郎直實の女 玉都留守護佛なりしと云」と記されています。つまり、熊谷直実の娘、玉都留姫の守護仏であった薬師如来像が安置されているわけです。お堂の中に厨子があり、「薬師如来」が安置されてい

ます。

薬師堂は、かつて清安寺にありましたが、同寺が廃寺となったため、当主清水氏の祖が自宅の敷地内に移したものです。現在のお堂は、場所を移し改築されています。移築のときは前の柱と扁額等が利用されたそうです。薬師如来や扁額は、大変由緒もあり貴重なものだといわれています。また、宮の下地区のおしっさまは、かつて薬師堂を宿として行われていました。

清水家の人々によって護り継がれてきた薬師堂は、今も大切に守られています。

参考 「新編熊谷風土記稿」「熊谷のお散歩」

「郷土こぼれ話 地域の神様⑤おしっさま」

文・写真：むらた ひとし

大幡公民館だより 平成30年 3月号